

## 食品に関するリスクコミュニケーション(岡山)ーもっと知りたい食品添加物ー

参加者数： 85  
アンケート回収数： 72

<アンケート記入者について>

※リスクコミュニケーター・・・岡山県登録

①		
回答内容	件数	割合
平成19年度登録リスクコミュニケーター	39	54.2%
平成20年度登録リスクコミュニケーター	22	30.6%
食品安全委員会の公募	5	6.9%
無回答	6	8.3%
計	72	100.0%

②性別		
回答内容	件数	割合
男性	16	22.2%
女性	56	77.8%
無回答	0	0.0%
計	72	100.0%

③年齢		
回答内容	件数	割合
20歳未満	0	0.0%
20歳代	1	1.4%
30歳代	12	16.7%
40歳代	20	27.8%
50歳代	24	33.3%
60歳代	15	20.8%
70歳代以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	72	100.0%

④職業(立場)		
回答内容	件数	割合
①消費者団体	1	1.4%
②主婦・学生・無職	25	34.7%
③生産者	1	1.4%
④食品関連事業者・団体	10	13.9%
⑤マスコミ	0	0.0%
⑥行政(自治体職員, 独法職員)	7	9.7%
⑦食品関連研究・教育機関	4	5.6%
⑧その他	20	27.8%
( )		
無回答	4	5.6%
計	72	100.0%

その他()

会社の食堂栄養士	2
調理師	2
給食調理員	1
会社員	5
管理栄養士	2
福祉施設職員	2
団体職員	1

⑤意見交換会情報入手手段

回答内容	件数	割合
食品安全委員会HP	2	2.8%
岡山県からの案内資料	59	81.9%
食品安全委員会メールマガジン(e-マガジン)	3	4.2%
関係者からのご案内資料ご案内資料	6	8.3%
知人からの紹介	1	1.4%
その他	1	1.4%
無回答	0	0.0%
計	72	100.0%

その他()

食品衛生協会
--------

⑥あなたは「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか？

回答内容	件数	割合
強くそう思う	42	58.3%
ややそう思う	27	37.5%
あまりそう思わない	2	2.8%
全くそう思わない	0	0.0%
わからない	1	1.4%
無回答	0	0.0%
計	72	100.0%

問2. 本日の意見交換会について

①意見交換会に参加した目的

回答内容	件数	割合
①食品添加物の安全性について理解を深めたかったから	44	61.1%
②自分の意見や考えを話したかったから	0	0.0%
③他の参加者の意見や考えを聞いたかったから	8	11.1%
④これまでにない取組で面白そうだったから	1	1.4%
⑤少人数で相互対話に関心があったから	1	1.4%
⑥国、自治体の行うリスクコミュニケーションについて知りたかったから	6	8.3%
⑦その他	3	4.2%
( )		
無回答	9	12.5%
計	72	100.0%

②どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	12	16.7%
②ほぼ満足	45	62.5%
③あまり満足できなかった	10	13.9%
④まったく満足できなかった	0	0.0%
⑤どちらでもない	3	4.2%
無回答	2	2.8%
計	72	100.0%

③, ④満足できなかった と答えた方に伺います。

満足できなかった点(具体的に)

難しすぎて眠たくなる。わかりやすく説明してほしい。
消費者代表でもあるリスクコミュニケーターの大きく2の代表質問をそれぞれグループで発表する形式でしたが、2つとなってしまうと、ありきたりの質問にまとまってしまう傾向がある。また、回答も明確なものでは少々なかったと感じた。形式的なもので終わらせないためにもっと具体的に知りたいこと、ホンネ部分の掘り起こしが今後大切だと思います。
詳しいこみいった話がなかった。

名称や数値など細かい事は知ることができたが全体的には以前の自分の考え方と変わっていない。
添加物についての事前勉強が必要。
印刷物にそったものも多く、もっと詳しく具体的に聞きたかった。添加物を含む食品をどれだけまで食べても安全か疑問が残る。
余計に添加物に関することに迷ってしまった。講演を聞くとちゃんと基準をもうけているので安全ですということなのですが、いまいच्छり入ってきません。本当に情報が氾濫していて困ってしまいました。
意見交換はわかります。
時間がなかった。

### 問3. 意見交換会についてどう思われたか？

回答内容	件数	割合
①評価する	54	75.0%
②まあまあ評価する	13	18.1%
③あまり評価しない	2	2.8%
④まったく評価しない	0	0.0%
無回答	3	4.2%
計	72	100.0%

#### 理由

小グループで質問するので質問しやすかった
他の方(違う立場)の意見が聞けるから良いと思います。
グループワークは、他の人の意見が聞けるのが勉強になる。
みんなの前での発表は恥ずかしいしイヤなのでグループという少人数で話し合う方がやりやすかった。
意見を交換することで何が必要でどこに問題があるのか少しでも理解できる。
自分の意見をまとめること。発表することは疑問に思っていることを具体的にすることができると思います。より一生懸命講義を聞くことができました。
講演だけでは意見が言いにくい。小グループにして意見交換をすれば意見しやすい。
グループワークそのものは、非常に活発な意見交流ができていたと思う。しかし、その後の意見交換会は正直言わせてもらって、専門職会議になった進捗で少々残念であった。出された回答に対してのさらなる質疑応答の展開が望ましいと思います。
職業、環境の異なる参加者の意見が聞けて良かったです。
他に人の意見を聞くことが少ない。本音の音が聞こえるのが大変よい。
グループ内で色々な立場の人がいて質問をまとめる中で、洋々な意見が出て興味深いものでした。
何がわからないのかを全員で整理できたのがよかった。
いろんな意見を聞けてよかった。
少人数なので意見が言いやすい。
意見を出しても、それを打ち消す発言が出て、あまりいい気持ちではない。
他の人がどうしているのか、いろんな角度からよく理解できた。
自分なりの疑問点に色々な意見が出て、言い方は違っても考え方が似ている疑問点にホッとしました。グループの意見交換は有意義でした。色々な意見が聞かれて多少は安心感ができました。
人それぞれ色々な意見があることがわかった。
グループワークが非常によかった。グループの内に専門的な人や、詳しい人と気軽に質問や意見交換ができたので、より理解できたり、周りの気持ちを聞くことができた。
他の参加者の考えを聞くと、考えの幅が広がり自分も向上できるような気がする。こうゆう場は私にとって好きではないが、自分を少しでも気づきができるようにしていきたい。内容はちょっと高度で理解できないことが多かった。
グループにすることにより話がしやすかった。
講演が短時間で、グループワークで色々な意見が出たのでよかった。
質問をし易いシステムになっていて気兼ねがなかった。ただ、「参加者の共通認識が得られるか」という点では講演内容がコンパクトすぎて知識の伝達には時間的に難しい。(知らない人には復習だが全然知らない人には漠然とし過ぎる)ただ、こういう形式での情報収集の機会をもっといただけて勉強になりました。
他の人の考え方が分かったり、自分の考えが深まった。
少人数で話しやすく他の参加者の意見もよく聞ける。
意見が言いやすい。

<p>少人数で、まず紙に書いて意見を交換するという点で後の意見交換がスムーズに出来たと思うし、少人数グループならでわの意見の出しやすさがあった。</p>
<p>自分の意見、疑問が声に出せ、また他人の疑問にも同感することも多く、意見情報の共有もあり学ぶことも多い。</p>
<p>全員の意見が聞け、意見の集約がよくできた。</p>
<p>参加者全員で意見交換できたような気がしました。回答者も分かりやすい言葉で説明していただいた。</p>
<p>参加者が自分の意見を(間接的にでも)発言するやり方は、手法としてはとても良いと思いました。又、コーディネーターの小平リスクコミュニケーション官があえて、こちら側(フロア側)の立場の質問をしてくださったのは、フロア側の満足度も高まると思います。ただ、やはり回答については、国の説明にしたい(説明しやすい)内容についての説明だった気がします。</p>
<p>評価は出来るが、グループワークの時間が少なく意見の説明が十分出来なかったように思う。添加物に限らず食品について広く意見が話し合われた。</p>
<p>①参加者が各々意見を考え発表することができる。②一部の参加者の意見を聞いて終わる形式でないため。</p>
<p>一方的講演では、ズバリ診断型のみのもんた流に勝てない。安全を安心に転化される方法の一つ。</p>
<p>少人数での意見は言い易く、話の流れもスムーズであり、氏名を呼び合うことで親近感も増す。</p>
<p>添加物について、いろいろ知識を得られました。</p>
<p>目新しい研修会でした。参加者の相互の意見が聞けているような考えがあることを知りました。</p>
<p>少人数で年齢、性別の違う方々の意見交換が出来てとても有意義に思いました。</p>
<p>同じ考え、違う考えの人がいることで一喜一憂したり、その上で意見、情報の共有化ができ添加物の理解が深まりました。グループワークをすることにより、一人一人が自分の考えを発言できたことがとてもよかったと思いました。</p>
<p>問題に対する解答等から行政の努力も分かったし、グループの話し合いの中では色々内容が聞けて有意義だった。</p>
<p>一方的な受身のやり方よりグループワーク等で出来る意見の方が身に付きやすい。今後このような場所(地区に帰って)での取り組みに役立つ。</p>
<p>安全性についての理解が深められたことと、他の参加者の意見が聞くことが出来てよかった。</p>
<p>意見や情報の共有</p>
<p>生活環境、それぞれの立場などにより観点が異なり、意見が様々があると痛感した。</p>
<p>消費者の声を拾いやすい。</p>
<p>色々なサイトでの見方がわかるので。</p>
<p>他の人の考え方を聞くことができ参考になる。</p>
<p>他の人がどう考えているのかが分かり、自分が気付かなかったことを気付かせてもらえて理解が深まった。</p>
<p>他の人の意見、考え方が分かったような気がした。</p>
<p>意見交換により参加された方の添加物に対しての不安(安心・安全)は意見、情報の共有化により理解することが出来た。繁殖試験(ラット)の実験による説明について説明に理解はできたが、完全には理解できていませんが、少しは不安は取り除かれたように思う。</p>
<p>食品は命である。生産者の立場を公表してほしい。</p>
<p>活達な意見を多く聞いた。</p>
<p>他の方の考えを聞くことができるのが良い。専門的なお話を聞くことが少なくなる点が残念。</p>
<p>行政からの一方的な話でなく、皆で解決するとか、反対の意見も聞くことができるので良い。一人では意見できないが、グループでとなると話し合いが出来て、まとめて意見が出せるので安心して質問できる。</p>
<p>詳しく説明せずに疑問を持たせる方法は、今までなかった方法であるから。</p>
<p>いろんな話が聞かれて分かり易い方法がわかる。</p>
<p>意見が出や易く活発に話し合いが出来た。</p>
<p>他の方の意見が聞けたから。質問について説明が聞けてよかった。</p>
<p>グループ交流することで、違う角度から視点や気づきがあり、添加物について理解が深まりました。</p>
<p>時間がなかった。</p>
<p>色々な意見を把握し共有できた。欲を言えば、一人ずつ専門委員会さんとの面談があれば、疑問が解決できるのでは。今日の添加物の件でも、まだ疑問・不信感が残っているので、他者への情報提供はむずかしいと思う。</p>
<p>種々な方の意見を聞くこともでき、又その方々の疑問に専門家の方に説明していただけたので理解しやすいと思いました。(時々、専門的な用語が分からないので困りました。)</p>
<p>多くの人の思っている事に対する説明を聞いたこと。</p>

問4. 意見交換会の進め方について、意見交換会の全体の印象を通じて感じた印象は？

i. 意見交換会の開催手続きは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	25	34.7%
②そう思う	37	51.4%
③あまりそう思わない	1	1.4%
④そう思わない	1	1.4%
無回答	8	11.1%
計	72	100.0%

ii. 配布資料はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	17	23.6%
②そう思う	45	62.5%
③あまりそう思わない	6	8.3%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	4	5.6%
計	72	100.0%

iii. 講演Ⅰ「食品添加物のリスク管理」の説明は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	14	19.4%
②そう思う	46	63.9%
③あまりそう思わない	8	11.1%
④そう思わない	1	1.4%
無回答	3	4.2%
計	72	100.0%

iv. 講演Ⅱ「食品添加物のリスク評価」の説明は理解できた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	14	19.4%
②そう思う	45	62.5%
③あまりそう思わない	8	11.1%
④そう思わない	1	1.4%
無回答	4	5.6%
計	72	100.0%

v. グループディスカッションの進行役の進め方はよかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	19	26.4%
②そう思う	41	56.9%
③あまりそう思わない	7	9.7%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	5	6.9%
計	72	100.0%

vi. 意見交換時は質問にきちんと回答していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	24	33.3%
②そう思う	34	47.2%
③あまりそう思わない	7	9.7%
④そう思わない	1	1.4%
無回答	6	8.3%
計	72	100.0%

vii. 他の参加者の意見を聞くことはよかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	50	69.4%
②そう思う	19	26.4%
③あまりそう思わない	0	0.0%
④そう思わない	0	0.0%
無回答	3	4.2%
	計	72
		100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見やご感想をお書き下さい

<p>添加物の安全性はよくわかりましたが、まずいものをおいしくしたり、腐る寸前のもも食べられるような加工食品にしたりと、なんだか加工食品＝添加物の入ってる粗悪な原材料の食べ物。というイメージを捨てることはなかなかできません。</p>
<p>講演内容が難しくわかりにくいので、質問がしづらかった。最後の意見交換の時間が長すぎてくたびれた。会場がとても寒かった。</p>
<p>今回、添加物にしぼった交換会であり意見集中するので良い方法と思った。</p>
<p>食品添加物について、漠然とした知識しかなかったのですが、正確な知識を得ることができました。リスクコミュニケーターとしての勉強の場がもっとあれば、よいのにと思います。－主婦としてはなかなか活動の場は持てません。</p>
<p>小グループでの話し合いでは、よく意見交換ができた。リスクコミュニケーター（代表）小平さんはわかりやすくよかった。「みのもんた」の話ではないですが、テレビとかマスコミ、学校等で、もっと食品添加物だけでなく食育にもっと力を入れて子供から老人まで知識を持つようにしたらと思う。特にこれから育つ子供達に食べることの大切さ、手作りの食事、家族揃っての食事の大切さについて学んでほしい。毎日手料理を家族揃って食事したら精神的にも、肉体的にも健康な子供達が育つと思います。</p>
<p>厚労省の専門家の話を聞く機会をもてたことは、とてもよかったです。又、添加物メーカーの方の話を一部聞くことができ、メーカーの方も、参加者として選んでいることも意外でよかった。</p>
<p>質問にわかりやすく説明して下さり有難うございました。</p>
<p>添加物＝危険 ではないということを理解した。</p>
<p>会を重ねて、いろんな勉強ができ感謝しています。</p>
<p>グループ討議は、いい勉強になります。</p>
<p>今までは食品には必ず添加物は含まれているものだと思っていましたが、複合作用についての質問に多くの方が疑問を持っているのだなど実感し、又、質問回答で多少なりとも理解しました。只、添加物の入っていない食品は皆無に等しいと思うので、食品を購入する時は、親、また人からの言い伝えや今までの自分の経験で購入、調理したいと思いました。ただ、添加物と食品に含まれる農薬等の因果関係も知りたいと思いました。</p>
<p>立場やレベルの違う人との意見交換で少しとまどうところもありました。食品の色を美しくしたり、色つやでおいしそうにみせる為の添加物はいらないと思います。</p>
<p>食に対する不安は自分がよく知らないから不安なのだと思います。最近、周りにいる人が子供の為にグリーンコープで「無添加」と書かれた商品を購入したかったので、私も「無添加」について過敏になってきていました。「無添加」ってよく分からないから「添加物」が入っているものは体に悪い「敵だ」と思うようになり、身の回りが「添加物」にあふれているから怖くなっていました。今回、この講習を受けて私の中の「添加物」に対する不安がなくなりましたが、次に残留農薬に対しての不安がシフトしていています。やはり知らないから不安なのです。「添加物」に不安を感じている人に今回の内容を伝えようと思います。</p>
<p>食品添加物の安全性について理解できた。私たちは日々多くの添加物をとっているがバランスのとれた食事をしていれば、いたずらに不安にならなくてよいと分かった。</p>
<p>消費者がもっと勉強して、きちんとした理解をし全員が同じ情報を持てるようコミュニケーションしなければいけないと思った。</p>
<p>コーディネーターの方がうまくまとめて意見として質問してくださいましたが、返答がかみ合っていない場合が多く分かりづらかった。表面的な返答ばかりで核心にふれた返答がなくコーディネーターの方が再度要約して質問解答する場合が多くて、主催者側よりで参加者が置いていかれる様なイメージの会だった。参加して、食品添加物に詳しくなればと思いましたが、具体的によくわからない結果に終わり、これを「リスクコミュニケーターとして他に広めてくれ」と言われて転嫁されても困る。添加物の会議なので添加物の冊子を1冊だけ各テーブルに置くのではなく、一覧になった用紙が配布してあれば日常の買い物で利用できたりして便利なのにと考えた。もっと消費者レベルに立ってほしい。</p>

基礎になる知識の違いのある複数人への研修は、どこに視点をおくか難しいと思います。質問を出し、それに答えるこの形式はおもしろかったです。グループで2点の質問提示だったが出した質問に全て後から回答配布していただきました。
時間が長い。色々な情報は大切だと思いますが、もう少し短い方が助かります。許容量オーバー(頭の中)
係数やデータについても例外のないものはなく、今日の資料・講演が全てではないことが分かった。「みのもんた」の情報も「最新のものが聞けて」マスコミを等して情報が早く頼りにすることがあると思う。しかし専門的な事は厚労省をはじめ行政の情報が頼りです。NHKなどに定期的 ゲスト出演(民間でも)などは余計な経費は掛からないのでは。もしかして視聴者もゲストとして希めば出来るかも。やはり、マスコミの力は大きい。一般の人も誤解している事、不安な事の質問もあると思う。
専門家の方々が多く来られ、一つ一つの質問に答えて下さったので大変有意義な時間を過ごせました。
グループワークの時間をもっとゆっくりとっていただきたいかった。
リスクコミュニケーション相互の繋がりが持たなくて単独行動である。連携を持てるようにしてほしい。(例)名簿などの公開。
質問の幅が広く内容を少しまとめて、順に説明があればと思いました。(添加物そのもののこと、取り扱い方、検査についてなど)今回のような内容についてどのように消費者に伝わっていくのか、大切なことであるが、かえって不安にも感じる。現状の食生活での食品の選び方の難しさを考えさせられた。
今日は質問に対して適切なご解答等を頂きすっきりです。「安全なんじゃなー」と安心して口に入れられる気持ちです。ありがとうございました。
長時間だと思って参加しましたが、あっという間でした。
駐車場があればもっとよかったですね。
※食品添加物、あらゆる食品について消費者、消費者団体、生産者、業者、行政、又関連団体の連携を強くして、これからの食品安全の信頼を築いていかなくてはいけないと思いました。※添加物のメリットも理解できました。
医薬品と添加物で人体におよぼす影響が全く違うことが分かり安心した。
昨今、食の安全がおびやかされることが多く、不安な毎日を過ごしているといっても過言ではありません。リスクコミュニケーションとして、このような研修をしてくださったことに感謝致します。進め方も意見交換もでき、専門家の話も聞け、資料もいただけとも良かったです。次回は農薬のこともしていただけたい嬉しいです。ありがとうございました。皆さんにも伝えていきたいですし、いかなければなりませんね。(鶏インフルエンザ、偽装表示、遺伝子組換え食品、クローン牛、狂牛病・・・食の安全に関わる様々な問題もお願いします。)
今日の会を通じて、今まで添加物は×という気持ちがあっさり弱くなった感じがします。しかし、これからも色々アンテナを張って、いろんな情報を取り込んで自分なりに消化していこうと思います。正しく判断するのは難しいと感じます。
グループワークの時間がもう少しほしいと感じました。とても良い意見が出るし参考になった。
意見交換時の質問等に誠実に答えてくださった事が良かった。大変勉強になりました。(目からウロコ)ってこともありました。
・講習会等は定期的をやった方がいい。・全体を通して分かりやすかったです。・色々意見を聞いて良かった。
つまるところ消費者が賢くならなければならないということでしょうか。
勉強になりました、また機会があれば参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。
添加物は安全でないと思っていました。今日の会で安全と習いましたが、まだ不安が残っています。もう少し自分に納得できるまで学習してから皆様に伝えたいと思います。
疑問点について、先生が分かり易く説明してくださり非常に勉強になりました。
本日は理解を深めるのにたいへん役に立ちました。ありがとうございました。
意見交換会は評価できると思った。リスクコミュニケーションの目的が理解、食に関する安心安全を伝えていきたいと思っています。
食品添加物についてのCD、DVDが欲しいです。今少し時間が不足です、午前・午後も出来たら良いです。
貴重な学びの機会創出に感謝しています。ありがとうございました。
駐車場のある会場または、駅に近い方がよかったです。アレルギー食品に関する勉強会を希望します。
ファシリテーターとして、皆さんに十分お世話役ができたかどうかに関しては疑問です。随分、皆様に助けていただきました。ディスカッションは有意義で良かったと思います。グループでの話し合いは一人より意見が出やすいと知りました。個人で参加して机を前に向けて聞いて疑問は？と聞かれても手が挙げられない、意見を言えない。
難しいが理解は出来た。
今までのいわゆる「交換会」と違って、参加者同士が交流もでき、意見交換も自分の近い感じで参加できました。
沢山の意見が出て、それぞれに考えさせられました。情報にまどわされる事なく、よく勉強していきたいと思っています。